

～南和地域の医療と健康に関する情報誌～

はぴねすだより 16号

8月24日、南奈良総合医療センターにて、総合防火訓練を行いました。

南奈良総合医療センターにおいて、火災が発生した場合を想定し、奈良県広域消防組合のご協力のもと、通報・初期消火・避難訓練を行い、職員の対応能力と防火・防災意識の向上が図られました。



今号の内容

1. 大規模災害に備えて
2. 新型コロナウイルス感染症特集
3. 選定療養費改定のお知らせ
4. 吉野病院からお知らせ
5. 五條病院からお知らせ



南和広域医療企業団

大規模災害に備えて 南奈良総合医療センターの取組み

近年、台風・洪水などによる大規模災害が全国各地で発生しています。また、南海トラフ巨大地震が30年以内に高確率で発生するとされています。災害拠点病院の指定を受けている南奈良総合医療センターでは、定期的に「災害実働訓練」を実施し、万が一の事態に備えています。

災害拠点病院とは

災害拠点病院とは、県内や近県で災害が発生し、通常の医療体制では被災者に対する適切な医療を提供することが困難な場合に、都道府県知事の要請により、傷病者の受け入れや医療救護班(DMAT)の派遣を行う病院です。災害拠点病院は次のような要件を満たすことが必要です。

- ① 24時間いつでも災害に対する緊急対応ができ、被災地域内の傷病者の受け入れ・搬出が可能な体制を持つ。
- ② 災害派遣医療チーム(DMAT)を保有し、その派遣体制がある。
- ③ 救命救急センター又は、第二次救急医療機関である。
- ④ ヘリコプターに同乗する医師を派遣できることに加え、これらをサポートする、十分な医療設備や医療体制、情報収集システム、ヘリポート、緊急車両、被災地における自己完結型の医療に対応できる応急用医療資器材を備えている。
- ⑤ 整備された業務継続計画に基づき、被災した状況を想定した研修及び訓練を実施する。



DMATとは

「Disaster Medical Assistance Team = 災害派遣医療チーム」のことで、大規模な災害や事故などの発生時に、被災地に迅速に駆けつけ救急治療を行うための専門的な訓練を受けた医療チームです。



DMAT訓練の様子

南奈良総合医療センターの取組み

南奈良総合医療センターは、大地震等の災害が起こった時に、南和地域の医療を支える災害拠点病院です。

直下型の大地震が起こった場合、南和地域だけで2,600人の負傷者が出ると予測されています。また、断水や停電、道路や鉄道もしばらく機能しない状況になります。このような災害時に病院の機能をどのようにして維持し、多数の傷病者に対応するのか、職員1人1人が素早く対応できるように定期的に訓練を実施しています。



令和元年度災害実働訓練の様子

災害が発生した時は、まず自分が無事であることが最も重要です。災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や津波などに遭遇した時の身の安全の守り方を知っておく必要があります。

災害発生時は一人一人が命を守る行動を！

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) ～うつらない・うつさない為に～

新型コロナウイルスが猛威を振るっています。

8月下旬までの新型コロナウイルス感染者は、全国で累計6万5千人に達しており、奈良県でも同時期の感染者数は、累計で500人になっています。このウイルスは特にお年寄り、免疫の弱い人には重篤な肺炎や血管の病気(血栓症)などを起こす事が知られており注意が必要です。ではどの様にするとうつらない・うつさないのでしょうか？

新型コロナウイルスの経路は主に以下の2通りです。

- ①飛沫感染:くしゃみや咳、つばを吸い込む事で感染
- ②接触感染:感染した人が周りの物に触れ、他の人がそこを触る事で手に付着し、それで口や鼻に触ることで感染



この経路を遮断し、うつらない・うつさない様に行うべき主な注意点を挙げていきます。

1) 手洗い・手指消毒をしましょう

大勢の人が使う所(ドアノブ・トイレトペーパー・水道の蛇口・つり革など)を触った後は手を洗いましょう。ハンドソープを使っての手洗いやアルコール製剤を使った手指消毒が有効です。タオルは別にしておくが無難です。



2) 咳エチケットを心がけましょう

咳エチケットとは、咳・くしゃみをする際、人に飛ばないようにマスクやハンカチ、肘の内側を使って口や鼻を押さえることです。できる人は話をする際にはマスクをつけましょう。



3) 『3密』を避けましょう

《密閉空間》《密集場所》《密接場面》を避けましょう。逆に屋外で密が避けられるような外出は運動する意味でもとてもよいと考えられます。



4) 体調が悪いときには外出を控えましょう



ちょっとした風邪気味の状態でも新型コロナウイルスに感染している可能性があります。体調が優れないときには外出は控えましょう。

5) 様々な便利情報にアクセスしましょう

様々な便利情報がインターネットで見られます。是非ご活用下さい。

①【厚生労働省】

COCOA:新型コロナウイルス陽性者と接触した可能性があれば通知がくるアプリ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



②【独立行政法人 製品評価技術基盤機構】

新型コロナウイルスに有効な界面活性剤が含まれている洗剤等の製品リスト

<https://www.nite.go.jp/information/osirasedetergentlist.html>

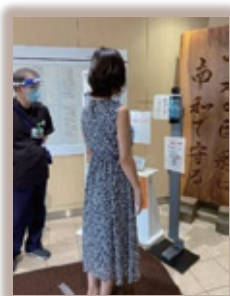


院内における感染対策

院内では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対策を行っております。ご来院の際はご理解・ご協力お願いいたします。



外来受診ファイルの消毒



入館時サーモグラフィによる検温



面会の原則禁止

※院内でリモート面会を行っていただくことが可能です。詳しくは「入院案内」をご覧ください。

令和2年度の診療報酬改定により、「一般病床200床以上の地域医療支援病院」では、紹介状なしで受診する場合などに保険適用の診療費とは別に、国が定める料金（選定療養費）をご負担いただくことになりました。令和2年10月1日から南奈良総合医療センターの選定療養費が下記のとおり変更となりますので、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

	改正前	改正後
ご負担額	初診 1,100円	初診 5,000円 再診 2,500円 ※再診：他の病院等に対し文書による紹介を行う旨の申出を行ったにもかかわらず当院を受診した場合
対象診療科	全診療科	内科、総合診療科、外科、整形外科、救急科

※当院を受診される場合は、かかりつけ医などの紹介状を持参いただきますようお願いいたします。

吉野病院から
お知らせ

物忘れが気になりませんか？
認知症検査を始めました！！

五條病院から
お知らせ

ポータブルエコーを
設置しました！

吉野病院では6月より『長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)』を実施しております。これは認知症の疑いや認知機能の低下を早期に発見することができ、約10分ほどで終了する簡単な検査です。一度担当医師にご相談のうえ、検査を受けてみられませんか？

「認定認知症領域検査技師」の資格を持つ臨床検査技師が行います。お気軽にお受けください。お待ちしております！



吉野病院 臨床検査室

五條病院では本年6月、持ち運びが可能な新しい超音波診断装置（ポータブルエコー）を導入いたしました。これにより、診察室内や入院病棟でもエコー検査を受けていただけるようになりました。



患者さんにとって、「身体的負担が少ない」「画像を通してわかりやすく説明できる」等のメリットがあります。

救急センターからのお願い

南奈良総合医療センターの救急センターでは、救急車などで搬送された重症な方を最優先に診察するため、軽症な方の場合、診察をお待ち頂くことがあります。救急車以外で来院・受診される方は、事前に電話で問い合わせをしていただきますようお願いいたします。

【編集後記】

今号では「大規模災害に備えて」を掲載させていただきました。この記事をご覧いただき、各ご家庭で非常時の備えや避難方法などについてお話しいただくきっかけになればと思います。

今後も企業団の様々な取り組みを、本誌を通じてお届けして参ります。

南奈良総合医療センター	〒638-8551	吉野郡大淀町大字福神8番1	電話：0747-54-5000
吉野病院	〒639-3114	吉野郡吉野町大字丹治130番地の1	電話：0746-32-4321
五條病院	〒637-8511	五條市野原西5丁目2番59号	電話：0747-22-1112
南奈良看護専門学校	〒638-8561	吉野郡大淀町大字福神7番地の1	電話：0747-54-5061